



↑大きな声援を受けながら取り組む選手



→集中を高めの的を狙う



→玉串を供える川添町長

戦没者の慰霊を弔う

明治維新以降の戦争で亡くなられたかたがたを慰める杉ノ段招魂祭が9月24日、杉ノ段招魂墓地で開催されました。

遺族のほか団体関係者、消防団員らが参列して、しめやかに神事が執り行われ、戦没者に対し参加者一同で感謝の意を捧げ、平和への誓いを新たにしました。

招魂墓地下の広場では、小学生対抗の相撲と弓道が奉納されました。

弓道に参加した選手らは、静かに集中力を高め、28メートル先の的を目掛け、矢を放っていました。

相撲では、子どもたちは土俵で元気いっぱいに取り組んでいました。「はっけよい」の掛け声で立ち会い、小さい子が大きい子を投げ倒すなど、接戦を繰り広げるたびに、観客から熱い声援が送られていました。試合は、接戦の末、城川内小学校Aチームが見事に優勝を飾りました。